

<sup>かいがい</sup>海外からもちこまれた生きもの（虫、カメ、<sup>くさばな</sup>草花など）を  
<sup>がいらいせいぶつ</sup>外来生物といます。

その中に、<sup>がいらいせいぶつ</sup>わるさをする外来生物がすこしだけいます。

つぎの<sup>がいらいせいぶつ</sup>外来生物のうち、日本（<sup>むかし</sup>印西市）に昔からすんで  
いる生きものの<sup>す</sup>住むところや<sup>た</sup>食べ物<sup>もの</sup>をうばうものはどれで  
しょう？



ヒメダカ



カダヤシ



ミドリガメ



アメリカザリガニ



コイ



アライグマ



オオキンケイギク

## 答え

ペットは最後まで飼いましょうとお願いするためのクイズです。

コイやカメ、アメリカザリガニなどの生き物は、絶対に川や池など、  
外に  
放さないでください。

すべて、印西に住んでいる生き物の住む場所や食べ物を奪い、滅ぼすものです。

**ヒメダカ** 川や池に入れると、もともといるメダカと結婚して、雑種ばかりを産み、もともとのメダカがいなくなってしまう。

**カダヤシ** 川や池に放すと、繁殖力が強いので、増えて、メダカの食べ物を食べてしまう。

**ミドリガメ** (ミシシippアカミミガメ) 川や池に放すと、繁殖力が強いので、たくさん増えて日本のイシガメの食べ物やすみかを奪ってしまう。  
成長すると30cmにもなり、40年くらい生きる。

**アメリカザリガニ** 繁殖力が最強にすごいので、ものすごく増えて、ヤゴや小魚を食べるだけでなく、水草を切って、虫や魚の卵を産む場所をなくしてしまう。

**コイ** 底の泥をかき回して、水辺を暗くして、底の生き物（水草や卵）などに、日光が届かないようにしてしまふ。数がたいへん少なくなっている貝類を食べて、貝類や貝に卵を産む魚を滅ぼす。

昔から日本にいますが、中国からの外来種。日本固有のコイは、琵琶湖にいるものだけ。

**アライグマ** 爪がするどいので、いろんな場所でいろんなものをとることができ、そこにいるほかの狸やキツネやウサギの食べ物を先に食べてしまい、他の生き物の数をどんどん減らす。

**オオキンケイギク** 種と根っこでどんどん増えて、他の植物より先に土地を占領してしまい、他の植物を成長させない。



# STOP ザリガニ!

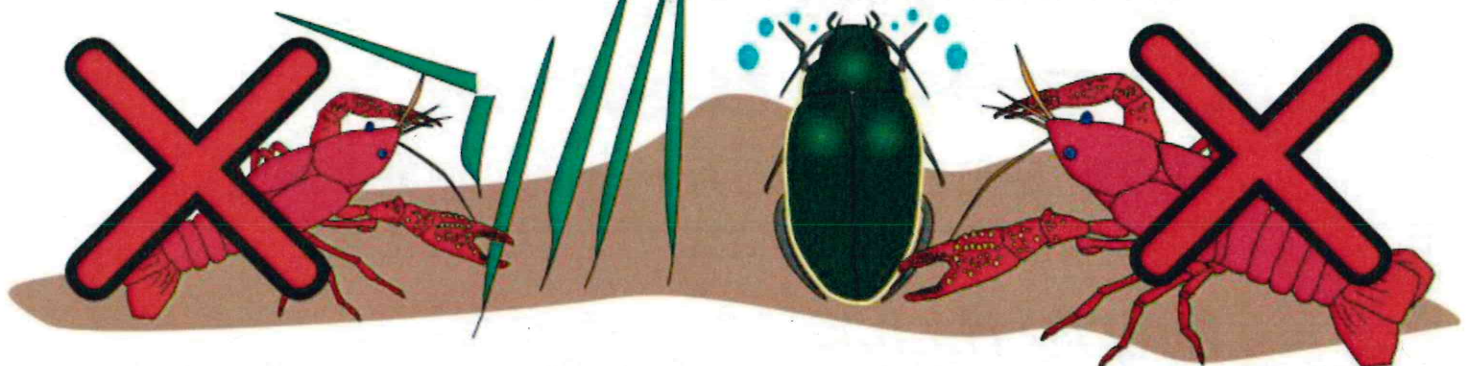


写真：駒井智幸

がいらいせいぶつ

## アメリカザリガニは外来生物です!

- ・飼っているザリガニを絶対に野外に放流しない
- ・とってきたザリガニを別の場所に放さない



外来生物とは、人の手によって外国から持ち込まれた生き物のことです。もともと千葉県には、ザリガニの仲間は1種類もいませんでしたが、現在では、県内ほぼ全域にアメリカ原産のアメリカザリガニが生息し、生態系への影響はとても深刻です。アメリカザリガニは、雑食性で何でも良く食べます。このため、昔から生息していた水生昆虫や水草などにとって、**絶滅**などの大きな脅威となることが懸念されます。今後、生態系の破壊を防ぎ、絶滅危惧種を守るためには、少なくともアメリカザリガニの生息地をこれ以上広げないように努力する必要があります。

※アメリカザリガニは環境省によって緊急対策外来種に指定されています。

また、日本生態学会によって日本の侵略的外来種ワースト100にも選定されています。

千葉県生物多様性センター

〒260-0852 千葉市中央区青葉町 955-2 (県立中央博物館内)  
Tel: 043-265-3601 / Fax: 043-265-3615 (土日祝日は休み)



外に放さないでね!!

# 緊急対策外来種 アメリカザリガニ ものがたり



要注意外来生物  
アメリカザリガニ



特定外来生物  
ウシガエル

## どうして、つれて来たの？

1918年(大正7年)にアメリカから輸入した食用のウシガエルのえさにするためです。

## いつ・どこからつれて来たの？

1927年(昭和2年)アメリカから神奈川県鎌倉のウシガエル養殖池へ、20尾入れたのがはじまりです。

## 食用ウシガエルはどうなったの？

昭和40年代、日本の冷凍ウシガエルから農薬がみつき、アメリカの輸入が禁止になりました。

どちらも逃げ出して、  
今は各地で繁殖しています。

\*特定外来生物、要注意外来生物は、外来生物法で指定された生きものです。裏表紙をお読みください。



もともとの生態系をこわす  
アメリカザリガニ

印西市別所の調節池の様子



2010年水草いっぱいの池

アメリカザリガニが大量に発生し、水草が切られて、生き物が減りました。

資料 亀成川を愛する会



2017年 7月～11月10日  
26回駆除 2620匹

斜面林からの落ち葉がつもって富栄養化した池に、アメリカザリガニが大発生し、水草を切ってしまいました。水辺の生き物がどんどんいなくなっています。

アメリカザリガニは水草をきったり、食べたりするので、水草にかくれたり、卵をうみつけたりする水中の生きものが、いなくなります。水を浄化している水草がなくなってしまうと、生態系全体がこわれてしまいます。



# アメリカザリガニは雑食 なんでも食べちゃう!!

水中の生きものたち、水草、落葉、泥の中の有機物など、なんでも食べます。



ゲンジボタル(幼虫)



ヘイケボタル(幼虫)



ゲンゴロウの仲間(幼虫)



ナツアカネのヤゴ



イトトンボの仲間のヤゴ



カトリヤンマのヤゴ



シマドジョウ



カエルの幼生(おたまじゃくし)



イトトリゲモ



落ち葉



# 印西市の自然に悪さをする生き物



カミツキガメ



ミシシippアカミミガメ  
(ミドリガメ)



アライグマ



カダヤシ



ウシガエル

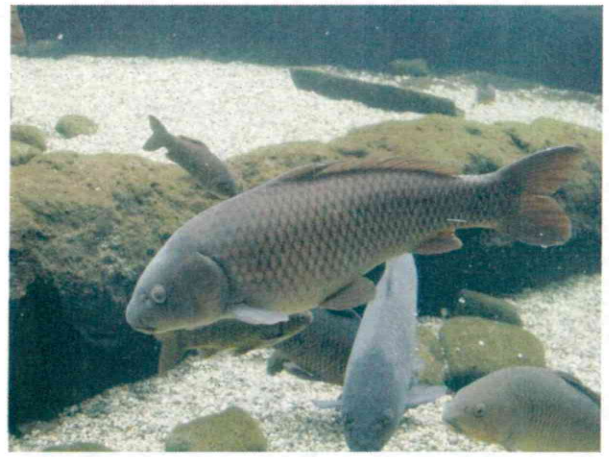


ブルーギル





オオクチバス



コイ



アメリカザリガニ



オオキンケイギク



ナガエツルノゲイトウ



アレチウリ

**ペットは最後まで飼いましょう**

家で飼っている生き物や植物は、野外に放したり、植えたりしないでください。